

目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	家族の協力を得て、利用者が使いなれたものや、好みのものをもってきてもらい、居心地良く過ごせるよう取り組んでいく。	家庭的な雰囲気を出すためには、普段家庭で使いなれていた飾りもの、置物等を持ちこんでもらう。本人が落ち着ける、居心地が良い暮らしに近づけるよう、工夫をしていく。	家族の方々には、面会に来られた時に声掛けをしている。本人にも意見、要望等を聞いて、面会の少ない家族の方々には、電話等にて家族の確認をしていく。	2 ヶ月
2	4	事業所から積極的に市担当者との情報交換の機会を増やし、相互に連携がとれるよう働きかけていく。	市担当者との連携を密にとり、2ヶ月に1回の運営推進会議で情報を交換して、ケアサービスの向上に向けて、積極的に取り組み、協力関係を築いていく。	定期的に話し合える運営推進会議等で情報を共有し、行事や催しもの等で協働出来るところは協力し、連携に努めていく。	3 ヶ月
3	2	地域との交流・活動が活発ではないので、積極的に事業所から働きかけて、交流・活動に取り組んでいく。	地域の自治会の活動が去年より停滞していて、今年も活動がなかったので今一度確認し、交流に向けて、取り組みを継続する。	市、地域の行事等の見学は積極的に参加しているため、地域との交流、親睦を活発させるよう計画し、地域の老人会、幼稚園、保育所等との交流を図りながら地域の中に入っていく。	4 ヶ月
4	13	地域住民や自治会との協力、災害に備えた備品などの準備、避難場所の確認などの徹底。	地域住民との協力体制や災害に備えての備品などの準備をしていく様に、協力体制の積極的な取り組みと避難場所の確認をしていく。	地域住民には災害時の応援態勢と、消防訓練等に協力をお願いし、連携がスムーズにとれるように交流も積極的にとっていく。	6 ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。